

商業（電子商取引）

履修単位	2単位	学年	2年	学科	商業科	コース	情報コース	区分	必修・ 選択
------	-----	----	----	----	-----	-----	-------	----	--

1 学習内容と学習目標

この科目は(1)情報通信技術の進歩とビジネス, (2)コンテンツの制作, (3)ウェブデザインと広告・広報, (4)ウェブページの公開, (5)電子商取引とビジネスの内容について学習する。

情報通信ネットワークを活用した商取引や広告・広報に関する知識と技術を習得し, 情報通信ネットワークを活用することの意義や課題について理解するとともに, 情報通信技術を電子商取引に応用する能力と態度を身に付けることを目標とする。

2 教材等

教科書：電子商取引 新訂版（東京法令出版）
 補助教材：Webで学ぶ電子商取引（実教出版）

3 年間学習計画

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
一 学 期	第1章 情報通信技術の進歩とビジネス 1節 ビジネスの変化 2節 情報通信ネットワークの活用と課題	4	○ビジネスにおける情報通信ネットワーク活用について理解する。 ○電子商取引における広告・広報活動の特徴と用途について理解する。 ○情報通信ネットワークの実態について理解する。 ○個人情報, 知的財産権の保護の必要性について理解する。	期 末 考 査
		5		
		6		
	第2章 コンテンツの制作 1節 コンテンツのデジタル化とファイル形式 2節 コンテンツの準備	7	○画像・動画・音声などの特徴について理解する。 ○効果的な図形情報を選択する方法を習得する。 ○画像・動画・音声データの取得方法やこれを活用するための技法を習得する。	
《課題・提出等》 ノート, プリント, 問題集, 小テスト(訂正を含む), 宅習課題, 実習で作成した作品, 考査訂正 等				
《第1学期の評価方法》 定期考査, 授業態度(出欠含む), 課題・レポート等の提出状況, 実習への取組状況を総合的に評価する。				
二 学 期	3節 情報の統合 第3章 ウェブデザインと広告・広報 1節 ウェブページ制作の手順	9	○情報を統合することの意義や役割について理解する。 ○情報を統合するための技法を習得する。 ○ウェブページを制作するための手順について理解する。 ○ウェブページを制作するときの注意点について理解する。 ○クライアントとのコミュニケーションの重要性について理解する。	期 末 考 査
		10		
	2節 デザインの基礎 3節 ウェブページ制作の基礎 4節 ウェブページ制作の応用① ～ウェブページにおけるプログラミング～	11	○ウェブデザインの意義や役割について理解するとともに, デザインの基礎的な知識を習得する。 ○HTMLで表現されるテキスト形態について理解し, ウェブページ作成ソフトを活用して, ウェブページの基本的な作成方法を習得する。 ○CSSを利用したウェブページ作成について理解する。 ○JavaScriptを利用した, 動きのあるウェブページ作成について理解する。	
		12		
《課題・提出等》 ノート, プリント, 問題集, 小テスト(訂正を含む), 宅習課題, 実習で作成した作品, 考査訂正 等				
《第2学期の評価方法》 定期考査, 授業態度(出欠含む), 課題・レポート等の提出状況, 実習への取組状況を総合的に評価する。				

三 学 期	5節 ウェブページ制作の応用② ～ウェブページにおけるアンケート調査～	1	○アンケート調査の意義・目的・種類について理解する。 ○CGIを利用したウェブページ作成方法を習得する。 ○データベースのしくみとメリットについて学び、リレーショナルデータベースについて理解する。 ○ウェブページによるデータベースとの連携について理解する。	学年 末 考 査
	6節 ウェブページ制作の応用③ ～ウェブページにおけるデータベースとの連携～	2		
		3		
《課題・提出等》 ノート、プリント、問題集、小テスト(訂正を含む)、宅習課題、実習で作成した作品、考査訂正 等				
《第3学期の評価方法》 定期考査、授業態度(出欠含む)、課題・レポート等の提出状況、実習への取組状況を総合的に評価する。				
《年間の学習状況の評価方法》 学習状況は、後に示した4観点から評価した1学期の成績・2学期の成績・3学期の成績を総合的に判断し、年間の学習成績として評価します。				

4 評価の観点と評価方法

学習状況は、「関心・意欲・態度」、「思考・判断・表現」、「技能」、「知識・理解」の4つの観点から評価する。具体的な評価基準は下表のとおりである。

評価の観点と趣旨		評価方法
関心・意欲・態度	ビジネスにおける電子商取引の必要性に気づき、商取引に情報通信技術を活用しようとする意欲があるか。 電子商取引システムの構築に必要な知識や技能を積極的に学ぼうとしているか。	授業態度・考査・課題提出
思考・判断・表現	電子商取引システムを構築するために、目的に応じた機器やソフトウェアを選択して利用できるか。 顧客の立場に立ったデザインに加工する工夫を行うとともに、分かりやすい情報発信ができるか。 知的財産権を意識したウェブデザイン設計を行うことができるか。	実習への取組・授業態度・考査
技能	図形や静止画、動画、音声などのマルチメディアを利用した情報発信に必要な機器やソフトウェアの利用、およびウェブページの作成技法を身に付けているか。	実習への取組・授業態度・考査
知識・理解	ビジネスにおける電子商取引の意義や役割を理解するとともに、ウェブページを用いて情報を効果的に伝えるための基礎知識や分析、企画・立案、制作、公開の手法を身に付けているか。	実習への取組・考査

5 授業を受ける際の注意事項

<ul style="list-style-type: none"> ・科目「電子商取引」は、2年次と3年次の継続履修である。 ・外部機関と連携した実践的な取り組みを行う場合がある。 ・学習の到達度を測るため、作品や課題・レポート等は必ず提出する。 ・学期ごとの定期考査の結果、30点に満たない生徒へは追指導を実施する。 ・このシラバスは、あくまでも予定であり学校行事やその他の理由などにより変更等になる場合がある。
